

1.評価対象事務事業		シート作成日	平成25年7月19日
事業名	し尿収集運搬事業	担当課・係名	環境美化センター 廃棄物対策係
総合計画実施計画事業 (認定番号・事業名)	—	事業番号	27
行革大綱実施計画事業 (細目コード・事業名)	—	事業開始年度	不明

2.事業の概要

目的 (何のために)	公衆衛生の向上				
対象 (誰を・何を)	汲み取り式便所の町民、事業者等				
内容	一般家庭及び事業所等から排出される、し尿を委託により適正かつ効率的に収集する。				
根拠法令・条例等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律				
執行体制	<input type="checkbox"/> 町職員実施 <input type="checkbox"/> 一部委託あり <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他				
	単位	平成23年度 (決算)	平成24年度 (決算見込)	平成25年度 (予算)	
事業費	直接事業費 (a)	千円	44,100	42,914	42,427
	国庫支出金	千円			
	県支出金	千円			
	起債	千円			
	その他	千円	3,109	3,056	3,108
	一般財源	千円	40,991	39,858	39,319
	職員人数 (概算職員数)	人			0.23
	人件費計 (b)	千円			1,409
総事業費 (a)+(b)	千円	44,100	42,914	43,836	
事業費内訳	○し尿収集運搬委託料 42,427千円				
H 25 年度					

3.指標値の推移

各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	平成23年度 (実績値)	平成24年度 (実績値)	平成25年度 (見込み又は計画値)
対象指標 (対象者数等)	① 汲み取り世帯数・事業所数	世帯	346	294	280
	② し尿収集量	ℓ	480	461	450
活動指標 (活動量)	① 延べ汲み取り世帯数・事業所数	世帯	4,407	3,970	3,724
	② し尿収集量	ℓ	480	461	450
成果指標 (達成度等)	① し尿収集回数	回	1	1	1
	② 1kℓあたりの収集経費	円	91,000	93,000	94,000

4.事務事業の評価

妥当性	・実施主体は妥当か	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他
	理由	全面委託で実施している。
妥当性	・実施手段は妥当か	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他
	理由	全面委託で実施している。
成果	・意図した成果が得られているか。	<input type="checkbox"/> 得られている <input checked="" type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他
	理由	原則1ヶ月に1回収集しており、対象者の要望に対応している。
効率性	・コストに対して効率的か	<input type="checkbox"/> 効率的 <input type="checkbox"/> おおむね効率的 <input checked="" type="checkbox"/> 非効率 <input type="checkbox"/> その他
	理由	収集対象世帯の減少により、収集の効率性が低くなっている。
	・コストの削減等を図ったか	<input checked="" type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input type="checkbox"/> 図る余地は無い <input type="checkbox"/> その他
	理由	収集量の減少に合わせて委託料を精査した。
担当課による評価	<input checked="" type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）	評価理由 収集対象世帯の減少により、収集の効率性が低くなっている。

5.改革・改善の方向性（平成 26 年度以降）

① 改革・改善への取り組み
公共下水道整備の推進に伴い、対象世帯が減少傾向にあり年々事業が縮小されていく。し尿収集運搬業の適正化、安定化を図るとともに、収集コストの適正化を図っていく必要がある。
② 平成26年度に着手する事項
特になし
③ その他（課題、調整事項等）
公共下水道整備の推進により、し尿収集運搬業の経営の影響が生じることとなる。今後は事業者の協議が必要となる。

6.平成26年度事業への取組み状況（改善内容等）

一般家庭及び事業所等から排出されるし尿を委託により、引き続き適正かつ効率的な収集運搬に努めていく。
